

**群馬県バスケットボール協会**  
**事業・活動実施ガイドライン（2023年4月）**

JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第6版（2023年3月13日以下新ガイドラインとする）の策定を受けて、群馬県バスケットボール協会においても、県内の事業・大会における基本方針をお示しすることといたしました。原則的には**新ガイドラインに準じた対応**を皆様にはお願いいたします。

新ガイドラインにも謳われている“行動制限の緩和が進む中での対応”が求められる中で、以下に、より現在の実情に近い、より受け入れられやすい指針をQ&Aでお示しいたしますので参考にしてください。

Q1. ガイドライン第5版と第6版の違いは何ですか？

主な変更点は以下の3つです。

- ①マスクの着用緩和（ただしあくまでも主催者判断）
- ②濃厚接触者の待機期間の短縮（感染者との最終暴露日から5日間、2日目及び3日目の抗原検査陰性なら3日目で解除）
- ③健康チェックシートの観察期間短縮（1週間に短縮）

Q2. 群馬県内では実際どのように対応しますか？

新ガイドラインに準じて運用する予定です。

マスクは適宜着用(地域やカテゴリーによって考え方も異なりますので、大会などの主催者が事前に取り決めておくこと 着用義務化も差し支えない)とします。

Q3. マスク着用の目安について教えてください。

各カテゴリーの上部組織の指示や施設の使用基準などを優先するとともに、地域の実情に合わせて主催者が柔軟に判断し、事前に参加者に周知してください。

原則的には選手のマスク着用緩和を最優先とし、指導者次いで観客などの着用緩和を進めていくことが望ましいと考えています。

Q4. 大声での声援はできますか？

大声での声援は可能と考えています（新ガイドラインでも禁止事項にはなっていないようです）。指導者も大きな声で指示、応援することは差し支えありませんが、インテグリティ精神に則ったものであることに留意してください。

その他、ハイタッチや握手、円陣なども緩和する方針です。

Q5. ゲーム後のベンチ消毒は引き続き必要でしょうか？

これまで同様、毎試合後に使用したベンチの椅子やテーブルオフィシャルの機材などは使用者が責任を持ってアルコール消毒していただけますようお願いいたします（新ガイドラインにおいて義務事項ではありませんが、引き続きご協力をお願いいたします）

Q6. 新ガイドラインを守っていれば感染しませんか。

残念ながら新型コロナウイルスなどの感染を完全に防ぐことはできません。皆様にはこれまで同様の基本的な感染対策（体調不良の際は自宅療養や医療機関受診、咳エチケット、換気、手洗い、高齢者や持病のある方のリスク管理など）を徹底して行なっていただけますようお願い申し上げます。

（※詳細は新ガイドラインを参照してください）

**大会やイベント等については、主催者や施設等で定められているガイドラインに従ってください。**

**チーム練習等につきましては、チーム内での申し合わせを行ってルールを定めていただきたいと思います。**

**コロナ感染が収束したわけではありませんので、各自が十分注意して日々活動して頂くようお願いいたします。**